

知床五湖の利用のあり方協議会（第23回）

<議事録>

1.日時：平成23年11月9日（水） 17：30～20：00

2.場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

3.議題：

- (1) 今年度の利用調整地区制度の実施状況について
- (2) 来年度以降の開園から5月9日までの運用について
- (3) 来年度以降のヒグマ活動期の運用について
- (4) その他

4.配布資料：

- 資料1 平成23年度知床五湖利用調整地区利用状況
- 資料2 利用調整地区導入に伴う利用者意識
- 資料3 開園～5月9日までの運用にかかる検討について
- 資料4 知床五湖登録引率者審査部会（第8回）議事メモ
及び登録引率者提案資料
- 参考資料1 知床五湖園地利用者数データ
- 参考資料2－1～3 開園～5月9日運用案検討に関する資料
- 参考資料3 JATA旅博の報告

5.議事概要：

環境省：挨拶

1.今年度の利用調整地区制度の実施状況について

知床財団：[資料1の説明]

北海道大学（愛甲哲也）：[資料2の説明]

環境省：[参考資料1の説明]

ガイド協議会：1日の中で最も混雑するのは何時か。

知床財団：実感としては、9時前後。しかし、データを見ると14時台の方が多い。午前中に利用者数より、グループ数が多くなっている。つまり午前中に団体が多い傾向がある。

ガイド協議会：観光船を利用した後に五湖に来ているということか。

知床財団：船に乗る前だと考えられる。ホテルから直接五湖に来ている。

環境省：データの補足として、資料1のP3の下のグラフについて説明する。青は高架木道。10月1日に突出している日がある。午前にヒグマ出て地上遊歩道は閉鎖したため、みんな木道を利用している。たとえ地上遊歩道が閉鎖されたとしても利用者は木道を利用している。

環境省：他に質問はあるか。

知床温泉旅館協働組合：まとめた数字はいつ出るのか。

知床財団：本日出したもののはすべてチェックしている。最終ではないが、ほぼこれで決定。最終的な決算は年度末から3ヶ月の間に環境省に提出する。

知床温泉旅館協働組合：利用調整地区制度は年度末より前に終了する。次年度の手数料の金額の設定にかかわってくるため、早めにかかった経費の様子をみたい。

環境省：手数料について、告示をする手続きをする必要があるため、来年春に出すためには、早く決めなければならない。12月中旬には確定しないと来年に間に合わないと考えている。

知床温泉旅館協働組合：早めに数字を出してもらわないと、料金を検討することができない。

環境省：最初の段階では料金は3年は継続していこうと考えていた。

知床温泉旅館協働組合：予想とかけ離れている場合には修正の必要がある。

ガイド協議会：昨年決定した時に、見込みより多かった際はどうかとの質問が出た。回答として毎年変えることはないと言っていた。

環境省：毎年変更することは大変。また、変動があるということが前提。

環境省：経費がどれくらいかかったか出ないと議論はできない。知床財団で経費の数字は出せるか。

知床財団：指定認定機関としての決算の提出をするので、そこから考えることはできる。

知床財団：収入についてはこれでほぼ確定だが、支出についてはまだ確定していない。

しれとこウトロフォーラム 21：当初認定の手数料について試算されていた。たとえば経費が予想

より高かったことはあるのか。

知床財団：まだ精査できていない。

しれとこ・ウトロフォーラム 21：予想より利用者は増えた。もし経費が同じであれば、半額も値下げができる。利益のためでなく、手数料として徴収しているはず。これだけ金額に差があるのなら、早急に経費の見直しを行うべき。

環境省：利用者が増えたことによって、その分余裕が生まれることはない。経費を確認してから吟味する必要がある。

知床財団：単年度の結果を出したが、これからどのような流れになるかわからない。指定認定機関としては、できれば数年続けていきたいと思っている。

斜里バス：最初に人員を検討しているはず。極端に経費が上がることはないのではないか。

知床財団：状況によって人員を増やしている。認定の作業と、一連の業務も現場では同じになっている。そのような場合、どのように考えるかも関係してくる。

知床温泉旅館協働組合：認定作業と、中で行う事務作業は別か。

環境省：レクチャー等は別の業務。環境省が知床財団に発注している。

環境省：早めに決算を出して、その上で議論を進めていくようにする。ただ、手数料に関しては毎年毎年変えることではない。

環境省：愛甲先生に意見をお聞きしたい。ヒグマ活動期において引率者が地上遊歩道以外に高架木道も利用している。この部分に説明をお願いしたい。

愛甲：ヒグマ活動期の地上遊歩道の利用者の9割もの人が、高架木道も利用しているとのデータがある。終わってからいく利用者が多かったよう。

知床温泉旅館協働組合：回収率が前年よりも落ちたのはなぜか。

愛甲：去年の回収率が高すぎたのではないかと。知床は他の場所よりも回収率が高くなっている。落ちた要因はわからないが、属性に関しては変わっていない。

ガイド協議会：利用者は、悪いことは書きたくないとの気持ちがあると考えられる。よかったと書いて出す方が出しやすい。この方法だと、良かったというデータを取り気味になってしまう。つまり、回収率が下がったということは、満足度も下がったということになるのではないかと。

愛甲：今回は郵送で返還という方法であるため、顔を見なくて済み、否定的な意見も取り入れやすいと考えられる。また、自由回答の欄はもうけなかったが、余白に意見が書かれていることがあった。そのコメントもデータとして蓄積している。

環境省：逆にクレームをつけたくて、アンケートの返還をする人もいると考えられる。

ガイド協議会：現地回収にすると悪い意見が増えるような気がする。現地のその場で悪いと思ったことをすぐに書いてもらうようにした方が良いのではないかと。五湖の現地で回収することも考えてもいいのでは。

愛甲：検討する。

環境省：色々差し引いても満足度は高いのでは。

愛甲：他の場所と比較しても高い結果。この調査とは別に全国統一で満足度調査を行っているが、この結果がでると他の場所と比較できる。例年だと知床の満足度は高い。

2. 来年度以降の開園から5月9日までの運用について

環境省：[資料3の説明]

観光協会：クマ関連情報と書かれているが、シカ衰弱死体がヒグマ情報なのか。また、開園前の情報をここで示す必要はないのでは。開園前のシカの回収については、開園までに終わらせればよい。必要なのは、開園後の情報ではないか。

環境省：今年は工事があって作業の方からシカの死体をどうにか対応してくれと知床財団に連絡が入った。死体につくヒグマがいるため、シカの死体の回収はクマ対策として行っている。

斜里町：資料の見方として、余計だと思う箇所は削除していただきたい。ここで示したいのは、この地域はシカの越冬地であり、密度が高い。また、シカの自然死が発生し、そのシカにクマがつくという特殊な状態であるということ。開園前にシカ回収作業は行っている。しかし、開園後も日々、回収する作業が発生する。

知床温泉旅館協働組合：去年の協議会の際、開園から5月10日までの間は、自由利用期に決定した。昨年と比べて、危険が格段に増えたような情報もないのだから今年も引き続き自由利用期を続けたらいいのではないかと。この資料からは変更するほどの理由はみえない。

知床財団：ヒグマのリスクはデータでは出しづらい。春はリスクが高いと考えている。そして、秋の自由利用期もリスクはある。しかし、リスクの面よりも、今年一年やってきて、レクチャーを受けることが付加価値になっていると感じている。サービスを提供できると考えている。そのサービスを延長できるとして、プラスの価値として考えている。その中で最終的に選択するのは協議会になるが、現場にいる身としては、レクチャーや情報提供を行うようにしていくのがよいと考えている。

環境省：議論の前提を確認するが、開園から5月10日は自由利用期にしているわけではない。今年からは5月10日から制度をスタートさせた。来年の開園から5月10日までの間はまだ決まっていないことになっている。

知床温泉旅館協働組合：では、今年と同じように5月10日までを自由利用期とすることはできないのか。

環境省：できない。管理者としては、責任がとれない。供用させないという判断になってしまう。

知床エコツアーリズム推進協議会：五湖でシカ死体が多いとのデータはない。

環境省：冬にシカは五湖のこの地域に集結する。集まってくるので、死ぬ数も多くなってしまいます。

知床エコツーリズム推進協議会：知床五湖の冬の利用をどうするかという問題をかかえている。この扱い方によって、影響がでる可能性があるので、慎重に進めてもらいたい。

環境省：冬の利用については範疇に入っていない。冬の知床五湖については冬山と同じ扱いと考えている。冬の利用については別の議論になる。

ガイド協議会：事務局提案の中で、植生保護期と設定することは、レクチャーを強制的に受けさせることによってある程度の責任を利用者に持つてもらふことか。また、雪が多い年と少ない年がある。雪が少ない時なら大ルートを使うことができるのか。それとも、この時期にも利用者を一度に大勢入れないようにするために分散させるのが目的なのか。どこに重きをおいているのかわからない。クマの過去のデータについてわからない部分があるのだが、電気柵を設けたことによってクマの出没が減ったのに、その後また増加した。これはなぜなのか。

知床財団：電気柵の部分についてお答えすると、クマの動きは変わってきているといえる。柵を設置することで一方からの進入を防いでいた。何年かたつとクマも学習して動きが変わってくる。

ガイド協議会：雪が多くて迷うから引率者が行けないのならば、雪が少ないなら行けるのか。どのように判断しているのか。

北海道：雪があつて道に迷うことも、歩道を踏み外すことも両方ある。管理者としては今の状態では供用することは厳しいと考えている。施設の管理としては雪がなくて利用できたとしても、ヒグマの管理の問題もあるのでこれを考慮すると難しい。

ガイド協議会：例えば今年雪が少なかった。しかし、倒木整理ができていなく、供用することはできない状態だった。もし整備が完了すれば入ることはできるのか。それとも、ヒグマ対策ができないから入ることは不可能なのか。植生保護期において、ほとんどの利用者は大ルートを利用している。同じ料金を払うならば長く歩きたいと思っているのではないか。

環境省：事務局内で仮に大ルートにおいて整備が完了した場合には、供用できるか検討を行った。雪が残っている場合、周りよりも歩きやすい状態になったら、この場所をヒグマが利用する可能性がある。現段階で来年のことを決めるのは不可能である。この時期について、来年、検証が必要になってくると考えている。

環境省：小ルートならば例年使用していたため、状況がわかっている。その中で、この場所に関して安全に使うために、レクチャーを受けてから入っていただきたいとの判断をした。

知床財団：植生保護期においては、クマが出た場合には、調査をおこない、管理者に連絡を入れる。最終的な開閉判断は管理者にしてもらう。その後入る人には最新の情報を提供することができる。しかし、自由利用期になると、もしヒグマが出た場合に、何の情報もわたすことができない。そのため、なかなか解放の判断ができず、閉鎖の日数が伸びてしまうことになる。小ルートに関しては実績があるので、このような運用ができるのではないかと考えている。

ガイド協議会：小ルートと大ルートの違いは何か。

環境省：小ループと大ループの違いは、歩道管理。大ループに関しては情報がないため、管理することができない。

ガイド協議会：制度上において小ループしか利用できないと決定するのではなく、その日ごとに雪の情報もヒグマの状況と同様のものと考え、開閉判断をするようにしてもらいたい。

知床財団：現地としては情報提供は可能。あとは管理者が判断してもらえれば。

しれとこ・フォーラム 21：過去、大ループについてGWは使用していない。そもそも、足もとも悪く、利用ができないのではないかと。とても使えないのであれば、今、一緒に話すことはできないのではないかと。現在10月20日からの自由利用期だけどすでに閉まっている。そうすると、今後この時期においても、自由利用期でなくなる可能性が出てくる。全体的な見直しも必要だと思う。GWについては、レクチャーはあってもいい。ただ、無料で行ってもいいと考える。

ガイド協議会：10月の自由利用期についても今後議論は出てくると思う。ネーミングについても検討する必要があるのではないかと。時期の名前をつける時に、何について一番重要だと判断しているのかを考えなければならない。利用者にこの時期について信用してもらえるのか。そのためにデータを積み上げる必要がある。時期の名前はなるべくわかりやすいものにしなければならないのでは。

斜里町：制度をわかりやすく呼ぶなら時期を2つに分けるのが一番良い。開園からはヒグマ活動期とし、その後閉園まで植生保護期とするというように。

ガイド協議会：利用者のことを考えて、説明をする必要がある。利用者にはすべての時期において植生保護期と説明している。そして、その中で、クマが多く出没する時期に、ヒグマ活動期としているというふうに状況を説明している。2つの時期に分けたというのは、説明はしやすいが、利用者が利用しやすいようにすべき。

斜里町：わかりやすさで考えた時に、ネーミングに関しては、あえて中身を細かく説明しないで、2つのみに分けた方がよいと考えている。開園から5月10日までをヒグマ活動期とするメリットは、雪について考えた場合に引率者がつくことで利用可能になると考えた。しかし、植生保護期とするならば、大ループは利用できないと考えた。そこで、妥協案として、植生保護期の小ループのみの利用という案を出した。

環境省：植生保護期にして小ループのみの利用というのが、今までの利用に一番近い。レクチャーを受けてもらい、安全対策について学んでもらい、散策を楽しんでもらう。植生保護期について今年はこのような体制でうまく機能してきた。この時期に対して、この対応が妥当だと感じた。

ガイド協議会：大ループが歩けるという可能性として残してもらいたい。責任について考えるなら、全部ヒグマ活動期にするのが一番ということになってしまう。

環境省：責任取るということがいやなのではなく、利用者に嫌な思いをしてもらいたくないのと、知床のブランドを下げるようなことをしたくないということ。また、できればこの場所を供用でき

るようにすることを考えている。事務局内で出た複数の案を出すことで、混乱がおきている。

ガイド協議会：利用者のことを考えた時、今年は無料で1・2湖を歩くことができた。利用者はレクチャーを受けることに対して料金を払うのではなく、五湖を歩くことに対してお金を払っている。今年データを見ても、多くの人が大ループを利用している。利用者は大ループを歩くことに対して、250円払っている。利用者ができるだけ大ループを歩けるような努力をしないのは、利用者に対して、失礼にあたるのではないか。

しれとこ・フォーラム 21：それは料金が半額ならよいということなのか。

環境省：事務局のもう一つ意見として、大ループの除雪を行うことができた際には、利用者を入れるかどうかについて検討を行った。融雪期において、GWという利用者が集中する時期に、どれだけ歩道に対して影響があるのか。しかし、ガイドと同行することによって、配慮がされて歩くことが可能であるのか。可能性として否定はできないが、検証の必要がある。

ガイド協議会：そうすると、この期間に関しては、引率者がいないと利用できなくなってしまう。これで決定となってしまうような印象を受ける。

しれとこ・フォーラム 21：GWの大ループの利用については別にして考えるべきなのではないか。雪があることにより足元が悪く、また、ヒグマが出没した際に、対応がより遅れることになるのではないか。この時期に関しては、別の問題として考えた方がよいのではないか。

環境省：そのように思う。今まで利用したことのない大ループについては現時点では、検討できない。

知床温泉旅館協働組合：クマの出没について、冬期の工事の影響はないのか。工事場所を避けるような傾向はないか。

知床財団：影響はないと考えられる。工事の作業員からクマ出没の連絡があった。また、五湖周辺は、シカの越冬地であるため、それを狙ってヒグマが寄ってくる。

環境省：大ループに関しては、昨年まで利用していなかった。その上で現在議論を進めることはできない。前提として、この大ループを利用したいと思っているのか。

ガイド協議会：選択肢として狭まってしまうことを懸念している。この時期、大ループでガイドをしたいというガイド業者があるのであれば、制限をかけるようなことはしたくない。現時点で、小ループの利用だけと限定してほしくない。

知床財団：それは、この時期を植生保護期として設定し、大ループと小ループを歩けるようにした上で、雪とヒグマの出没状況によって大ループのみ閉鎖する処置をとるということでしょうか。

環境省：小ループしか除雪ができないと決めている部分に問題があるということでしょうか。その他の意見のなかで、事務局内ではヒグマの出没問題や融雪期であるところの歩道の問題等があると考えている。

愛甲：植生保護期にするかとヒグマ活動期にするかと、歩道を開けるかどうかについては、別々の

ものと考えべき。歩道がどのような状態であれば供用することができるのか決める必要がある。何期にするかを決めるのはまた別のこと。

知床財団：昨年、植生保護期に台風のため、閉鎖したことがある。別問題として考えることになる。現時点の話し合いでは混ざってしまっている。

環境省：制度と施設の管理の状況を書き分けて、提示することとしたい。

知床エコツアーリズム推進協議会：今まで入れた場所を、入れないように固定してしまうことに、抵抗がある。クマが出た時は閉鎖にする等、状況によって対応できればよいのでは。固定されたものにせず、弾力性のあるものにしていただきたい。

環境省：制度についてと施設について別々に書き分けることにする。施設については状況によって開閉することとしたい。事務局としては何期に設定するのかを決めたい。今回の事務局案としては、ヒグマ活動期と植生保護期と並列で出している。

知床エコツアーリズム推進協議会：植生保護期の場合には、料金は半額にはならないのか。

環境省：利用は多い時期であるため、植生保護期と設定するのが適切だと。人が多い時期に高い料金設定をするのは経営としてあること。小グループだから半額ということはない。

知床温泉旅館協働組合：自由利用期という選択肢も入れてほしい。

環境省：今年の植生保護期はうまく機能した。レクチャーすることが付加価値として考えられる。レクチャーを受けてから入った利用者は満足度も高い。そこで、あえて自由利用期とせず、サービスの点でも安全点についても考え、なんらかの対応をした方が良いと考えている。

知床エコツアーリズム推進協議会：利用者の立場からしたら、自由利用期の方が当然満足度は高くなるはず。安全度を上げようということは管理者の問題。

環境省：レクチャーに対して価値がないということはない。利用者から評価はもらっている。知床五湖という場所は特別な場所となっている。

知床財団：レクチャーをアトラクションの一つとしてとらえてもらいたい。やむなくレクチャーを受けるのではなく、楽しんでもらえたらと考えている。

しれとこ・フォーラム 21：無料であるなら話は別だが、料金がかかるということと、レクチャーの付加価値は別の話。現在自由利用期だが、ヒグマが出た際には閉鎖している。それでうまく機能している。開園から5月10日までに関しても、同じようにうまく機能できるのではないか。また、もし今年の利用調整地区制度がうまく機能できず、赤字になってしまった場合には、3年間金額の変更をしようとの話はでないと思う。すぐに来年から金額を上げるとの話がでたらう。今年の赤字になった分はどのように返還していただけるのか。

環境省：返還についてはこれから議論すること。無償のレクチャーという考え方は成り立たない。利用調整地区だからレクチャーを必要としており、そのために予算がついている、そのお金を確保するには料金がかかることになる。

知床エコツーリズム推進協議会：結論を出す最終決定日はいつでしょうか。

環境省：すでに押しているなので、そろそろ結論を出したい。

環境省：制度としてのものと、歩道管理として書き分けたものを再度書き直して、提出する。事務局内では自由利用期とする選択肢はない。告示の関係で 12 月中には決定する。

ガイド協議会：次回協議会に向けお願いがある。料金の変更に関しては、GWについても、10 月以降もどれくらいかの予測ができるはず。今年より来年が悪くなるとは思わない。料金の値下げができるかどうかの様子をみたい。その為の試算の提出をしていただきたい。

知床財団：試算の提出をする。

知床財団：経費において、とりあえずの試算は出るが、時期によって人数やスタッフの能力等、考慮するところがある。ご了承お願いしたい。

3. 来年度以降のヒグマ活動期の運用について

環境省：[資料 4 の説明]

ガイド協議会：[補足説明]

知床エコツーリズム推進協議会：自由利用期である現在は、無線機は使用していないのか。ヒグマが出た際の対応をどのようにしているのか。

ガイド協議会：ヒグマと遭遇したら、携帯電話で五湖フィールドハウスに連絡を入れている。もしくは戻ってから五湖フィールドハウスに寄って情報提供をしている。この方法だとタイムラグが発生してしまう。

環境省：提案についてこれから考え、一緒につくっていくようにしたい。

ガイド協議会：チーム数を増やすことに関して意見はあるか。

知床温泉旅館協働組合：増やすことによって混雑を感じることはないか。前後のチームが近くなってしまわないか。

ガイド協議会：混雑する可能性もある。対策として、遊歩道内でポイントを決めて、そのポイントの通過時間を決めるという方法がある。

環境省：この出してもらった提案を、対応できるかどうかは部会で検討していく。

4. その他

北海道：旧トイレについて、解体工事は 11 月 5 日に完了した。今後この場所は環境省で管理者用の駐車場に整備する。

環境省：外構整備について。バス駐車地を移動し、アスファルト舗装を行う。エントランスは予算の関係で、路盤の整備のみで舗装はできない。また、サイン関係と排水の整備をする。12 月上旬に発注、入札を行い、工期は 3 月 30 日までとする。除雪、施工開始は業者が決定してから再度連

絡する。

斜里町観光協会：旅行博の報告[参考資料3の説明]

ウトロ地域協議会：知床五湖の駐車場内において事故があったとの情報がツイッターにあった。駐車場の段差の部分の法面から子供が滑り落ちたとのこと。この段差について、安全面の部分からも改修について検討していただきたい。

知床温泉旅館協働組合：斜里町ではどのように考えているのか。

斜里町：すぐに対応することはできないが、キャパの問題と併せて考えればいいと考えている。

しれとこ・フォーラム 21：新聞の大見出しに「有料化」と書かれたのは、イメージが悪いのでは。取材される方は指導すべき。また、ヒグマ活動期のガイドの料金について、利用者は解説はいらないので安く回りたいと考えている方もいるはず。そのような対応ができるようにするべきなのは。

ガイド協議会：ガイド協議会の中で、料金については、来年の当日受付カウンターの話と併せて話し合っている状態。次回の協議会で進めて行きたいと考えている。

環境省：新聞に対しては、指導していくようにしたい。今日はありがとうございました。

閉会：20:20